

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	4,785	4,608	176	143	186	3,521	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	4,785	4,608	176	143		3,521	実質赤字額 ▲ 7

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	447	424	23	23	33	-	-	-	
2 後期高齢者医療特別会計	126	122	4	4	74	-	-	-	
3 東栄医療センター特別会計	616	582	35	35	288	36	36	-	
4 簡易水道特別会計	128	122	6	6	61	833	665	-	法非適用企業
5 公共下水道事業特別会計	104	100	3	15	60	564	564	-	法非適用企業
6 農業集落排水事業特別会計	25	23	2	2	19	102	102	-	法非適用企業
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
計 公営企業会計等				85		1,535	1,367		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 愛知県市町村職員退職手当組合	8,143	7,203	939	939	-	-	-	
2 北設広域事務組合	1,487	1,465	22	21	3	-	-	
3 愛知県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	1,637	1,542	95	95	-	-	-	
4 愛知県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	878,811	858,109	20,702	20,702	1	-	-	
5 新城股楽交通災害共済組合	12	12	0	0	-	-	-	
6 東三河広域連合	8,405	8,249	156	156	-	-	-	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				21,913		-	-	

公債費負担の状況

実質公債費比率 (千円・%)					
区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比
元利償還金		363,633	380,260	388,804	22.7
減債基金積立不足算定額		-	-	-	-
準 満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-
公営企業債の元利償還金に対する繰入金		123,798	116,949	103,499	6.0
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-
債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)		-	-	-	-
元利償還金 一時借入金の利子		-	-	-	-
合計 (A)		487,431	497,209	492,303	
内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比
債務負担行為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
利子補給に係るもの	-	-	-	-	
特定財源の額 (B)	1,300	1,300	1,300		
標準財政規模 (C)	2,064,260	2,046,937	2,050,605		
算入公債費等の額 (D)	330,750	338,536	336,908		
(C)-(D)		1,733,510	1,708,401	1,713,697	
実質公債費比率 (単年度)		9.0	9.2	9.0	
((A)-(B)+(D)) / ((C)-(D)) × 100 (3ヵ年平均)		7.4	8.4	9.0	

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）											
区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比	内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	3,357,475	3,398,458	3,521,474	205.5	債務 負担 行為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	-	-	-		いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額	1,683,097	1,571,570	1,330,218	77.6		国営土地改良事業に係るもの	-	-	-	-
	組合等負担等見込額	-	-	-	-		森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
	退職手当負担見込額	1,196,223	1,039,911	1,010,005	58.9		地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-		依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-		社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-		損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-		引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
	合計	(E)	6,236,795	6,009,939	5,861,697			その他上記に準ずるもの	-	-	-
充当可能 財源等	充当可能基金	2,716,143	2,319,600	3,274,836	191.1	企業債等 繰入見込額	簡易水道特別会計	839,747	800,188	664,661	38.8
	充当可能特定歳入	-	-	-	-		公共下水道事業特別会計	651,213	613,283	563,706	32.9
	基準財政需要額算入見込額	3,128,294	3,149,456	3,194,044	186.4		農業集落排水事業特別会計	117,547	109,760	101,851	5.9
	合計	(F)	5,844,437	5,469,056	6,468,880		後期高齢者医療特別会計	-	-	-	-
	将来負担比率 $((E)-(F)) \div ((C)-(D)) \times 100$		22.6	31.6	-		その他の会計	74,590	48,339	-	-
健全化判断比率	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準	公社・ 三セク等	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-		
					土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-		
					地方独立行政法人に係る将来負担額	-	-	-	-		
					その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-		

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

[illegible]

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。